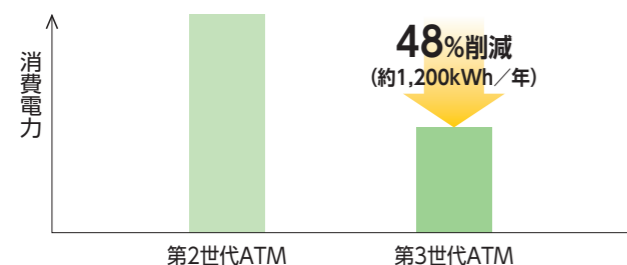


美しい地球環境への配慮

ATMの省エネ対策

第3世代ATMでは、第2世代ATMに対して消費電力を約48%削減しました。全国約22,000台のATMをすべて第3世代ATMに入替すると、年間で約15,000トン*のCO₂排出量削減になります。最新技術を積極的に導入し、お取引がないときは常に省エネモードにしたことや、ディスプレイのバックライトをLEDにしたことで、大幅に消費電力を削減できました。また、長寿命部品、リサイクル可能な素材を使用しており、資源の有効利用を推進しています。

*CO₂排出量を1Wh=0.579gで換算。



ATMの再資源化

古くなったATMとUPS(無停電電源装置)バッテリーは、リサイクル業者を通じて再資源化につなげています。

ATM廃棄実績

(年度)	2011	2012	2013	2014	2015	合計
廃棄台数(台)	724	3,538	3,559	3,812	2,597	14,230
廃棄量(t)	203	997	1,002	1,071	727	4,001

UPSバッテリー廃棄実績

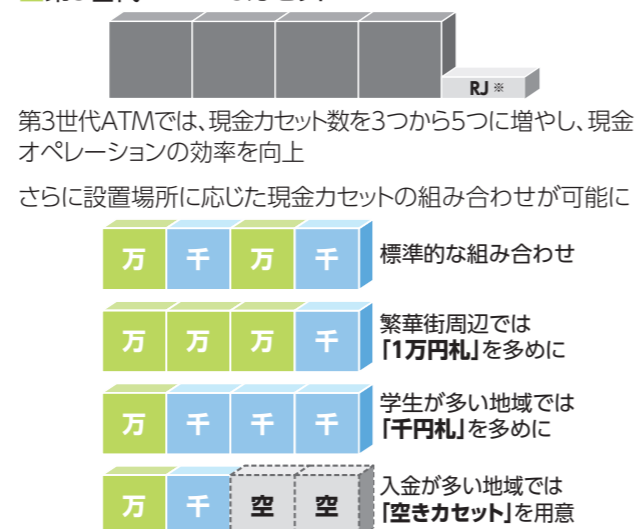
(年度)	2015
廃棄個数(個)	2,597

*廃棄したATMとUPSバッテリーはほぼ100%リサイクルされています。(UPSバッテリーは2015年度から実施。)

現金輸送回数の削減

第3世代ATMでは、内部の現金を入れておくカセットを従来の3つから5つに増やし、設置場所の利用状況に応じた組み合わせが可能となりました。たとえば、学生街では千円札のカセットを多く、繁華街周辺では1万円札のカセットを多くすることにより、現金の補充や回収の回数を減らすことができ、物流面でのCO₂排出量削減に寄与しています。

第3世代ATM 5カセット



*RJ: リジェクト庫。入金の際、受付けた紙幣のうち、汚損などで出金しない紙幣を格納する場所。

ご利用明細票での環境配慮

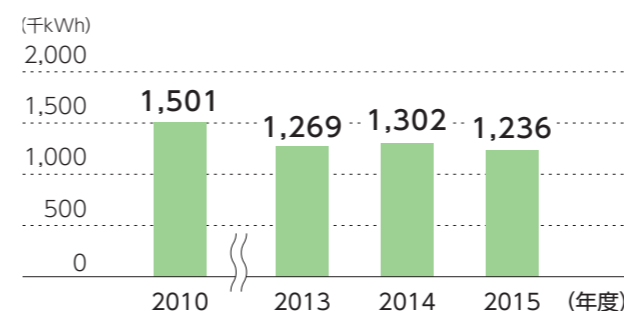
セブン銀行ATMでご利用明細票に使用しているロール紙は、無塩素漂白パルプから作られています。パルプの漂白工程に塩素ガスを使用しないことで、環境に有害な有機塩素化合物を発生させません。また、金融機関やお取引に応じて明細票を発行するかどうかを、お客さまに決めていただけます。これにより、不要な紙の使用を削減しています。

オフィスでの環境配慮

「ディスクロージャー誌2016」(本冊子)の製造・流通・廃棄に要するCO₂排出量10,763kgは、東日本大震災復興支援型国内クレジットを用いてオフセットしています。



環境指標/電気使用量*(オフィス、有人店舗、直営ATMコーナー)



*セブン銀行は、政府の要請等を参考として、2010年度を基準年としています。

*全国に22,000台以上設置しているATMについて消費電力を約48%削減できる第3世代ATMへの入替を進めていますが、この部分はATM設置施設の電気を使用しているため、グラフに含んでいません。

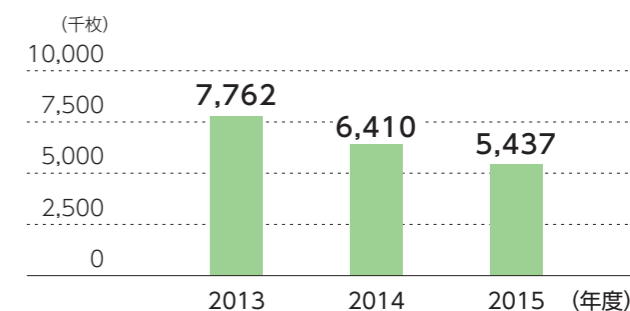
従業員による環境保全活動

ボノロンの森環境活動

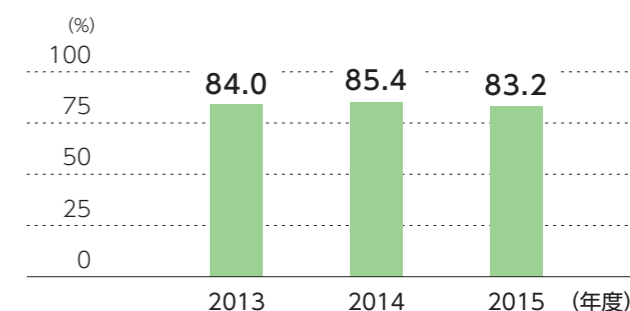
2015年9月、富士山麓で「第8回ボノロンの森環境活動」を行いました。この活動は、自然を慈しみ、大切にすることを育む従業員教育の一環として、2008年度より毎年実施しています。参加者は、ネイチャーガイドと富士山のふもとの森を散策した後、近くの国有林を中心に、ビンや缶、不法投棄された資材などを回収しました。



環境指標/OA用紙購入量



環境指標/事務用品のグリーン購入比率*



*グリーン購入を正確に把握し対比するために、2015年度より過去に遡って、事務用品の購入に対するグリーン購入比率を算出、掲載しています。

セブン・イレブン記念財団 東京湾UMIプロジェクト

2015年5月、神奈川県「横浜海の公園」にて行われた「東京湾UMIプロジェクト」(主催:セブン・イレブン記念財団)に参加しました。本プロジェクトは、水質浄化やCO₂削減に役立つアマモ(海草)を増やし、東京湾を豊かな海に再生するものです。グループ会社の従業員を中心とする総勢117名の参加者が胸まで海につきり、アマモの種子を採るために花枝を採集しました。

